

保育園での異文化体験エピソード



その25 言葉の理解力を高めるには…



外 国籍を持つ子どもの小学校入学に際して、日本語をどれくらい理解しているのかを測るテストを、入学前に小学校と連携して行いました。

その結果、言葉（単語）としては発音できていても、その言葉の概念（意味）とつながっていない、つまり、発音と意味が統合されておらず、話すことができても、言葉の意味は理解できていないことが多くあるということがわかりました。

その子にとって、どんなことがむずかしいのか、また、わかりにくいのかを、日々接する保育士が把握していれば、日常生活の中で言葉の概念が形成しやすいような接し方を工夫することができるのではないのでしょうか。

例えば、絵カードなどを利用して視覚を使って伝えるとか、遊びの中で意識的に多くの言葉がけをして、行動と言葉を結びつけるように、体験を通して概念を獲得していく手助けをするなど、日々の生活の中で、無理なく理解力を高めることができるかな～と思います。

(ユリア/愛知県碧南市・第2へきなん保育園理事長)

「地球家族ネットワーク」へのお誘いとエピソードのお願い

保育は、世界中の人と仲よく生活できること（平和）を伝える役割があります。

そこで、国際交流や外国籍の子どもたちの保育について情報交換をしたい方は、「地球家族ネットワーク」に参加してみませんか？！

また、外国籍の子どもを受け入れて、心に残るエピソードがありましたら、ぜひお寄せください。

全私保連 保育国際交流運営委員会

TEL 03-3865-3880 / FAX 03-3865-3879

E-mail : ans@zenshihoren.or.jp